

平成29年度 神奈川県立舞岡高等学校 不祥事ゼロプログラム

1 基本方針

- ・不祥事の発生をゼロにすることを旨とし、朝の打合せで事故防止宣言をするなど職員一人ひとりが本年度の課題・目標・計画を理解し常に意識して行動する。
- ・行動計画の検証として、不祥事防止点検表を用いて年3回(7・12・3月)の一斉点検を行う。

2 目標及び行動計画

取組課題		目標 (達成すべき内容)	行 動 計 画
必須事項	① 法令遵守意識の向上(公務外非行、職員行動指針の周知・徹底を含む)	教育公務員として、常に高度な行為規範を意識し、倫理意識の向上に努め、校務外非行を根絶する	i 朝の打ち合せや職員会議で県からの資料や新聞の事例を参考に、社会人としてのモラル、公務員としての倫理意識についての啓発を定期的に行う
			ii 「神奈川県職員行動指針ガイドブック」等を再確認し、日頃から法令を遵守し、県民の疑惑や不信を抱く行為はしないよう意識を高める
必須事項	② わいせつ・セクハラ行為の防止	モラル意識を高め、セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する	i 「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の収集・登録・管理・廃棄を適切に行う。特に携帯電話等は教育指導上必要な、緊急性を要する業務上の連絡に限って使用できることを徹底する
			ii 所属職員を対象とした人権に関する研修会、会議(セクハラ等を含め)を実施し、良好な人間関係の構築に努めるとともに生徒、職員を含めた相談体制の周知を行い、組織的な対応を行う。
必須事項	③ 体罰・不適切指導の防止	「体罰防止ガイドライン」を活用し、体罰によらない指導への理解を深め、体罰を防止と適切な生徒指導を行う	i 「体罰防止ガイドライン」を活用し、生徒の相談体制を整備し、さらに顧問を複数配置するとともに相互チェック体制を整える
			ii 所属職員を対象とした人権に関する研修会、会議(体罰を含め)を実施し、良好な人間関係の構築に努めるとともに相談体制の周知を行い、組織的な対応を行う
必須事項	④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等発行に係る事故防止について組織的な確認作業等の徹底を図る	i 成績処理・調査書等を発行するにあたりデータ・記載事項の照合・点検作業をマニュアル等が複数で確実に実施できる体制を整え、なおかつ徹底する
			ii 朝の打ち合せや職員会議で伝達指示を徹底するとともに、事故防止意識を高める
			iii 入選業務において、マニュアルを確認を行うとともに、組織的なチェック体制を実施する
取組事項	⑤ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報を適切に取り扱い紛失・流失を防止するとともに組織的な確実な点検を行う。	i 「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、組織的に個人情報の収集・登録・管理・廃棄を適切に行う。
			ii 「ヒヤリハット」事例をまとめ、事故防止会議や研修会で活用する
			iii 所属職員を対象とした個人情報の取り扱いに関する研修会を実施し、個人情報の適切な組織的な保管・管理を徹底する
			iv 定期的に個人情報に係るセキュリティ・チェックを実施し注意を喚起する
			v 携帯電話、電子メール、USBメモリ等記憶媒体の不適切使用がないように注意喚起を行う
取組事項	⑥ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高めるとともに、交通事故の発生を未然に防止する	i 朝の打ち合せや職員会議で公務員等の交通事故に関する情報提供を行い、交通事故防止の意識を高める
			ii 交通規則の遵守を定期的に呼びかけ、酒酔い・酒気帯び運転防止の徹底する
取組事項	⑦ 業務執行体制の確保等(情報共有・相互チェック体制・業務協力体制)	何事にも職員全体で危機意識をもち、事故が起きないように努める	i 職員啓発資料やヒヤリハット事例などを活用し職員会議等で情報の共有と事故防止の意識を高める
			ii 定期テスト等の事故防止について注意を喚起し、確認・点検を組織的に行う
取組事項	⑧ 会計事務等の適正執行	「私費会計マニュアル」を再確認し、公正な予算編成と適正な執行に努める	i 「私費会計マニュアル」を再確認し、規準や方法に則して執行を行い、併せて確認を行う
			ii 所属職員を対象とした私費会計取扱いに関する研修会を行う